和弘食品株式会社

2022年３月期 決算説明資料

北海道の新鮮な食材をもとに、スープ・タレ・天然エキスを作り出す業務用調味料の専門メーカーです。

2022年5月13日
証券コード　2813

JPX STANDARD

目次

1．トップメッセージ

2．2022年3月期 連結決算概要

3．日本セグメント概要

4．米国セグメント概要

5．2022年3月期 連結業績予想達成率

6．2023年3月期 連結業績予想

Copyright © 2022 WAKOU SHOKUHIN CO., LTD All rights Reserved.

目次

1．トップメッセージ

2．2022年3月期 連結決算概要

3．日本セグメント概要

4．米国セグメント概要

5．2022年3月期 連結業績予想達成率

6．2023年3月期 連結業績予想

Copyright © 2022 WAKOU SHOKUHIN CO., LTD All rights Reserved.

「本物志向」・「天然志向」・「健康志向」

を基本に少量多品種短納期生産に磨きを掛け、高付加価値の商品作りとお客様満足度の向上に努めてまいります。

株主並びに投資家の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り、心より感謝申し上げます。この度の報告をお届けするにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

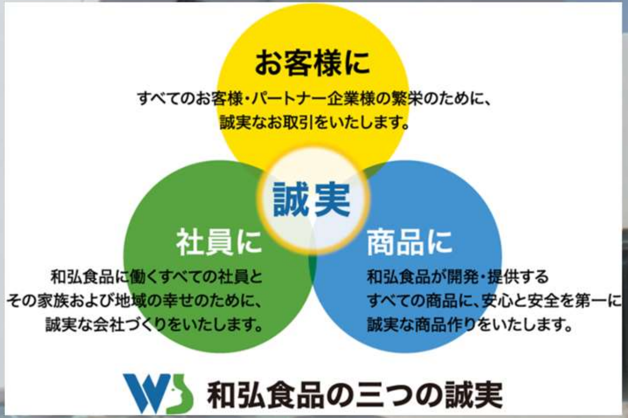
第59期は新型コロナウイルス感染症の感染拡大が一進一退を繰り返す中、ウクライナ危機を背景とする原油価格の高騰等による物価上昇圧力の高まりもあり、経済活動は厳しい状況が続きました。

そうしたなか日本セグメントでは、好調な中食･内食市場向け商品の販売に注力し、外食市場においては、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置等により時短営業を余儀なくされている飲食店様のニーズに合わせた商品開発に注力してまいりました。おかげさまで売上は前年と比較して回復の兆しをみせております。しかし一方で原油価格の高騰等の影響により原価が想定を上回る速度で高騰し、利益が低調に推移しました。原価低減や価格改定等、利益改善に向けた取り組みを加速させるとともに、お客様に満足いただける高付加価値商品の開発に力を注いでまいります。

一方、米国セグメントは米国が行った大規模な経済対策等により経済活動の正常化が進展し、外食需要の回復も見られたことで、主要販売先であります外食市場向け業務用調味料の販売が堅調に推移したこと、さらに売上の過半数を占める自社ブランド商品が大変好評をいただいた結果、過去最高の売上高および利益を更新いたしました。

その結果、連結で売上高11,490百万円、営業利益461百万円、経常利益469百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は461百万円となりました。今後も利益率向上を目指し、積極的な高収益構造の構築に取り組んでまいります。その成果にご期待いただくとともに、末永くご支援いただきますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 和山 明弘
WAKOUSHOKUHIN CEO Kazuyama Akihiro



（写真：WAKOU USA INC.）

Copyright © 2022 WAKOU SHOKUHIN CO., LTD All rights Reserved.

目次

1．トップメッセージ

2．2022年3月期 連結決算概要

3．日本セグメント概要

4．米国セグメント概要

5．2022年3月期 連結業績予想達成率

6．2023年3月期 連結業績予想

Copyright © 2022 WAKOU SHOKUHIN CO., LTD All rights Reserved.

2022年3月期 連結決算業績トピックス

和弘食品株式会社

連結業績	・売上高	11,490百万円	前年同期は9,975百万円
	・営業利益	469百万円	前年同期は▲244百万円
	・当期純利益	461百万円	前年同期は▲238百万円

和弘食品

・年間を通して飲食店の時短営業等の影響が響き、外食向け調味料が低調に推移

・コロナ禍以前と比べ、売上高が回復傾向にある一方で、原材料費や燃料費、流通コスト等の高騰により、利益が低調に推移

WAKOU USA

・引き続き、売上が堅調に推移、連結決算業績に貢献

・自社ブランド商品の売上が好調、売上の半分以上を占める

・年間売上高、利益ともに過去最高を達成

Copyright © 2022 WAKOU SHOKUHIN CO., LTD All rights Reserved.

2022年3月期 連結決算業績

和弘食品株式会社

（単位：百万円）

	2021年3月期 決算	2022年3月期 決算	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上高	9,975	11,490	-	-
売上総利益	2,068	2,888	-	-
営業利益	△ 244	461	-	-
経常利益	△ 177	469	-	-
親会社株主に帰属する当期純利益	△ 238	461	-	-
1株あたりの当期純利益（EPS）	△ 291.0	561.3	-	-

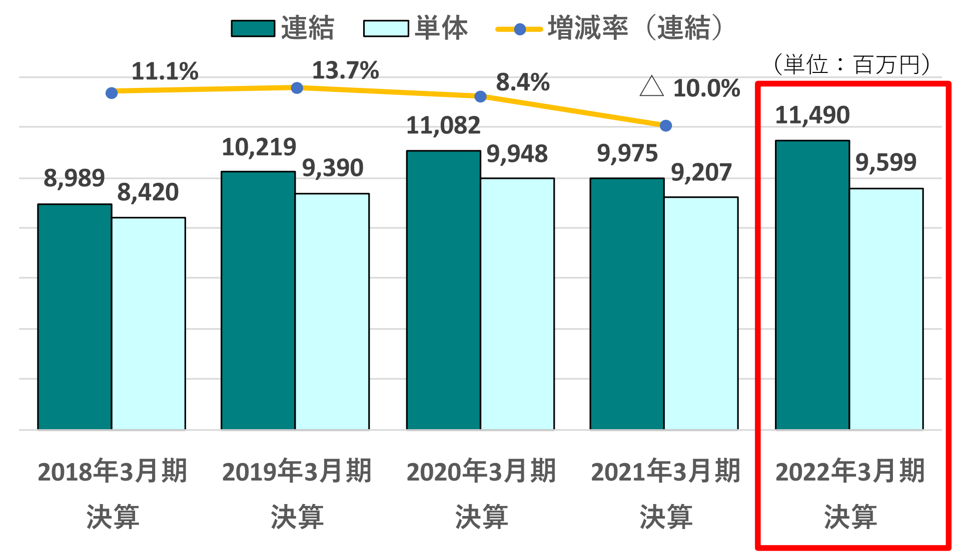
(注)「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用しております。このため、本資料の経営成績に関する説明の当連結会計年度と比較した増減額及び対前期増減率は記載しておりません。

Copyright © 2022 WAKOU SHOKUHIN CO., LTD All rights Reserved.

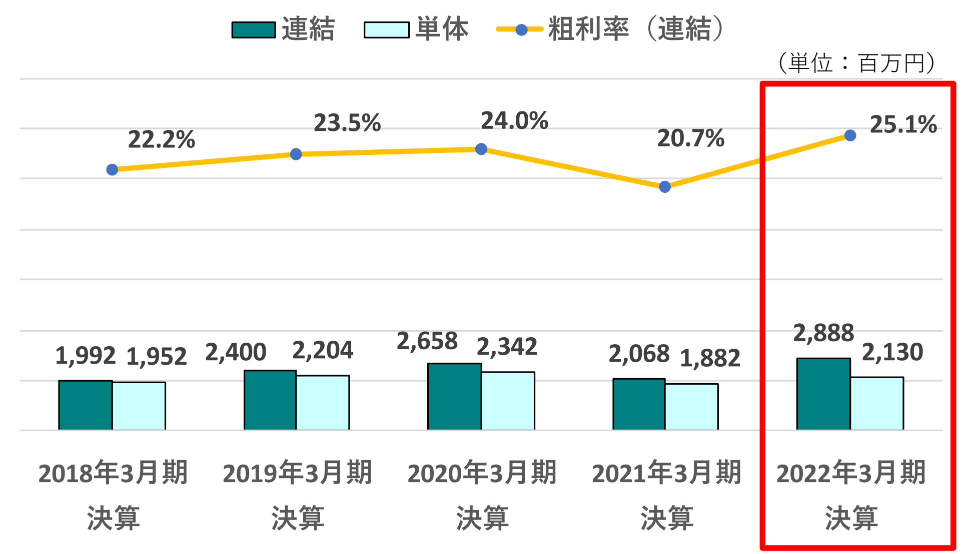
2022年3月期 決算業績 過去5年推移

和弘食品株式会社

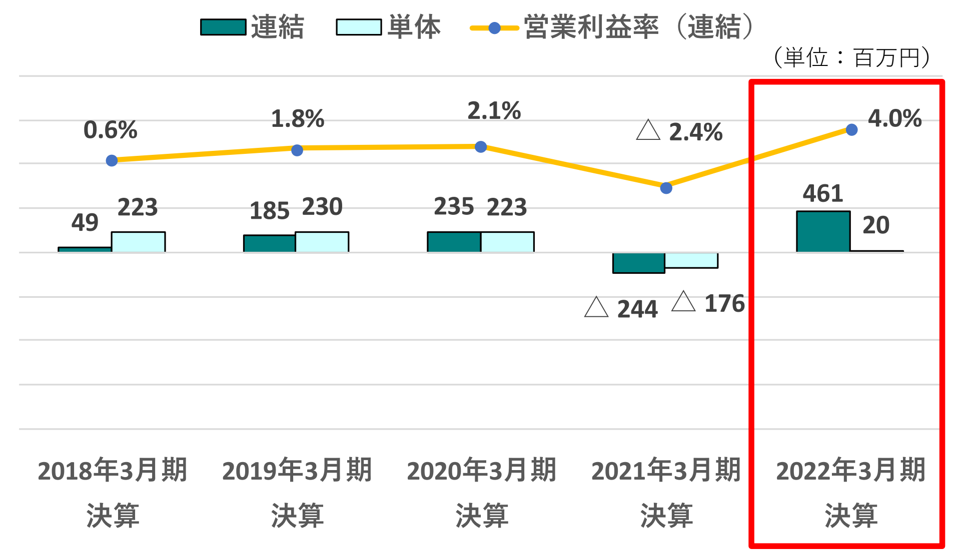
売上高推移（連結・単体）



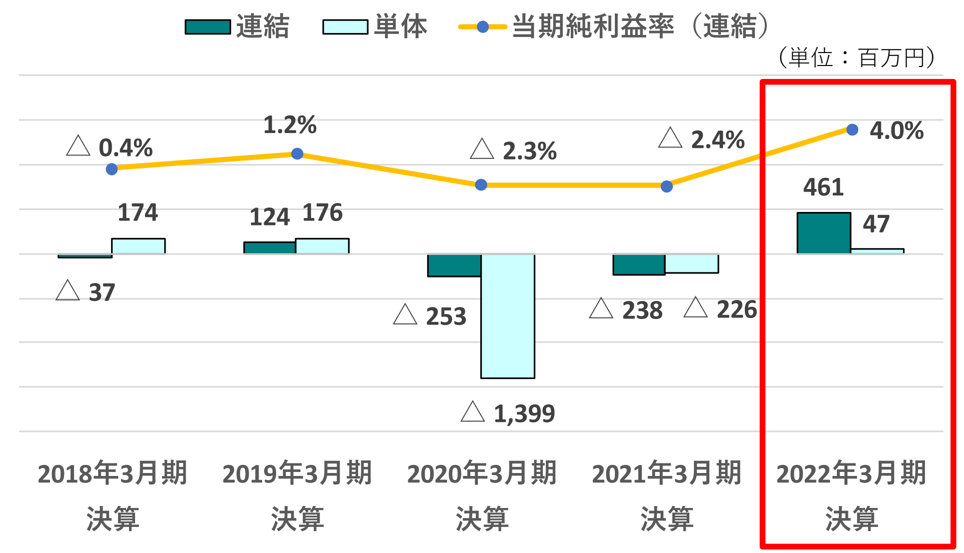
売上総利益推移（連結・単体）



営業利益推移（連結・単体）



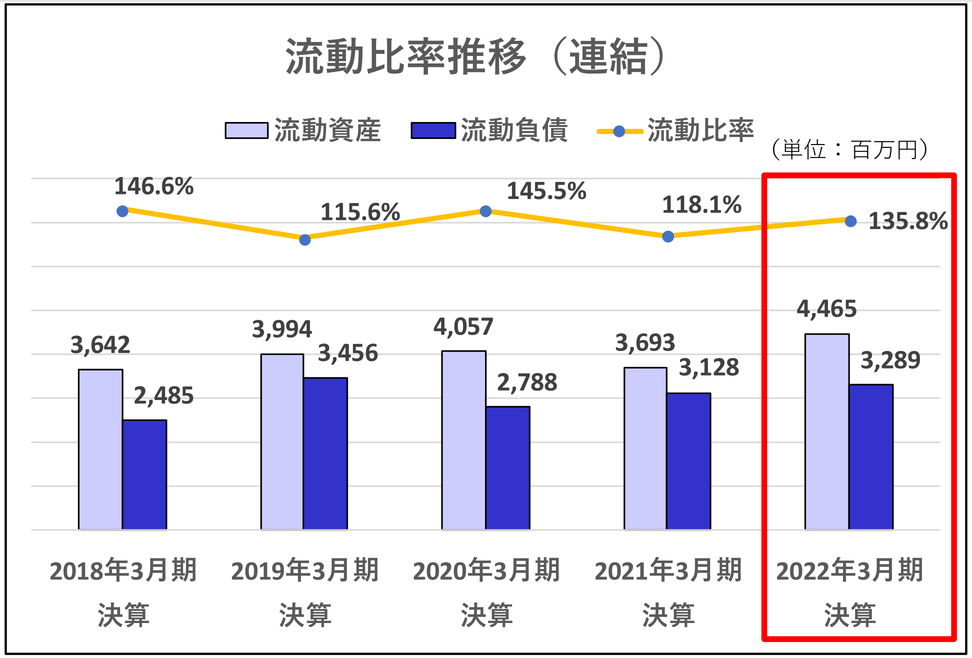
当期純利益推移（連結・単体）

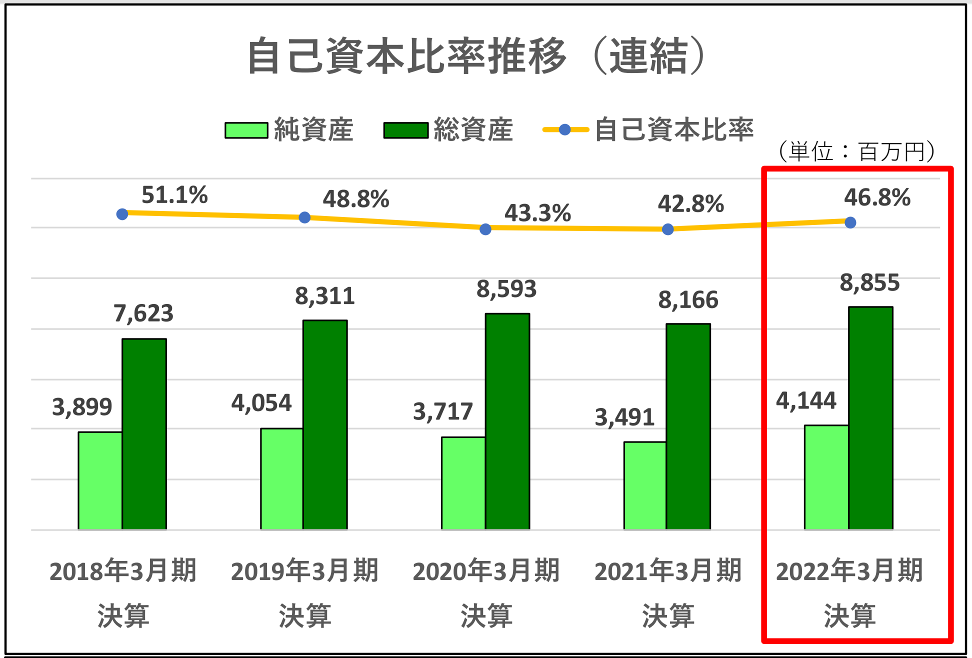


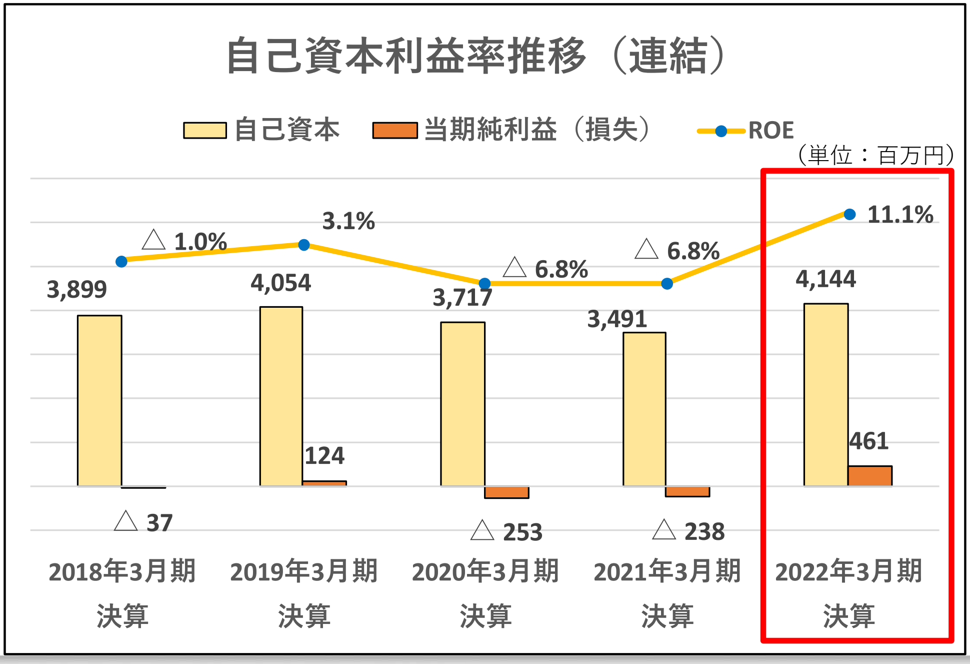
Copyright © 2022 WAKOU SHOKUHIN CO., LTD All rights Reserved.

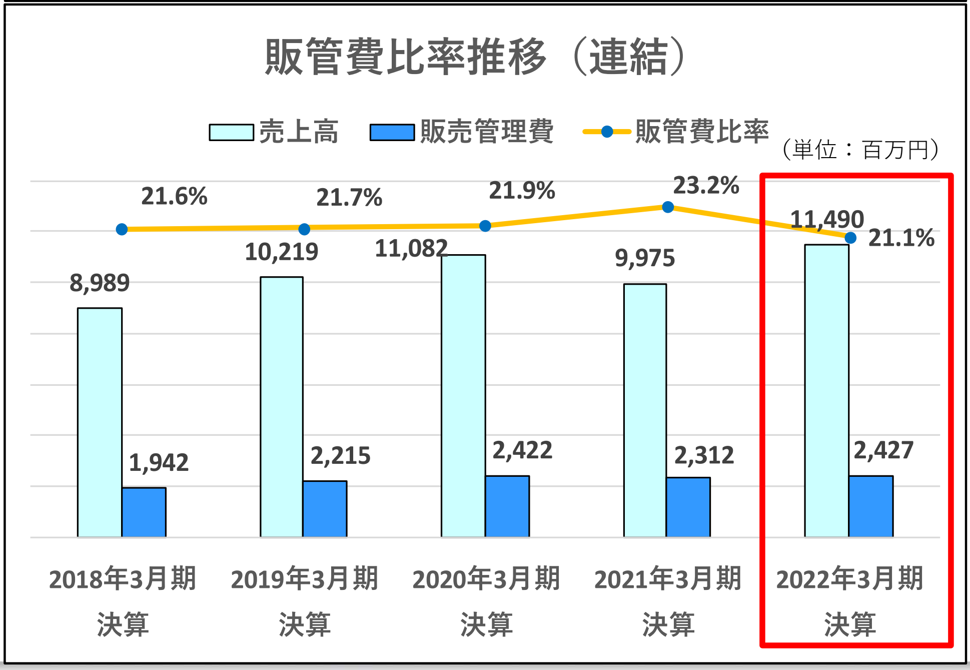
2022年3月期 決算業績 過去5年推移

和弘食品株式会社









Copyright © 2022 WAKOU SHOKUHIN CO., LTD All rights Reserved.

目次

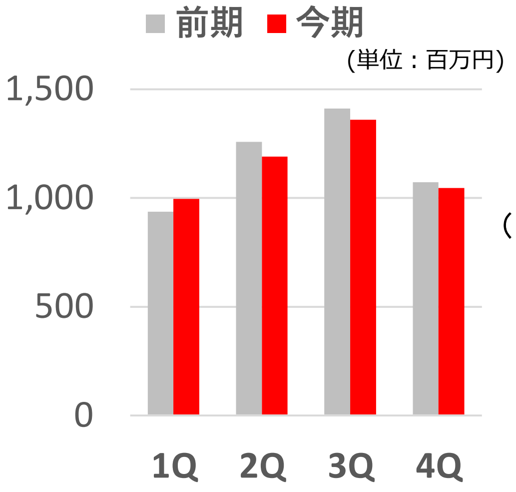
1．トップメッセージ
2．2022年3月期 連結決算概要
3．日本セグメント概要
4．米国セグメント概要
5．2022年3月期 連結業績予想達成率
6．2023年3月期 連結業績予想

Copyright © 2022 WAKOU SHOKUHIN CO., LTD All rights Reserved.

● 業務用

（単位：百万円）	通期累計
2020.4-2021.3	4,667
2021.4-2022.3	4,585

47.0%
売上構成比



・緊急事態宣言やまん延防止等重点措置等の影響により外食市場向け業務用調味料の販売が低調に推移

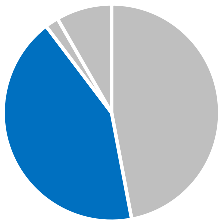
（当社ブランド品　例）

濃厚味噌ラーメンスープ　パワフルガーリックのたれ　天丼のたれ　十勝豚丼のたれ　北海道ザンギのたれ

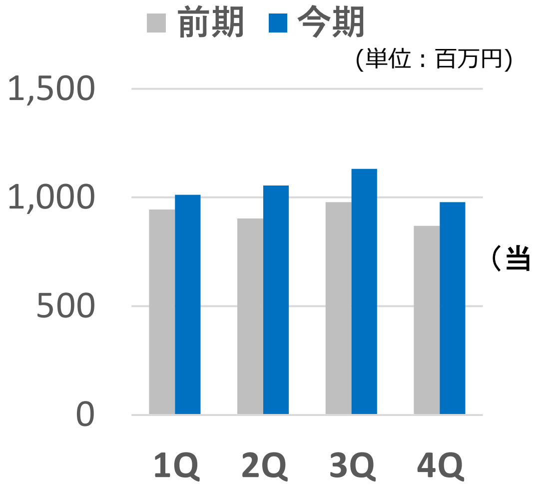
● 別添用

※　PB・・・プライベートブランドの略。商品企画に合わせて当社でレシピ設計をした商品をお客様のブランド名で製品化し、販売することを言います。

（単位：百万円）	通期累計
2020.4-2021.3	3,676
2021.4-2022.3	4,161



42.7%
売上構成比



・巣ごもり消費による購買機会の増加を背景に前期を上回るペースで好調に推移

（当社ブランド品　例）

醍醐味みそラーメンスープ　冷麺スープ　ごま冷し中華スープ　液体焼きそばスープ　魚介濃厚だれ

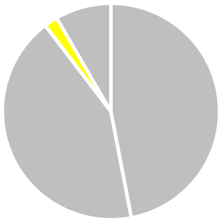
Copyright © 2022 WAKOU SHOKUHIN CO., LTD All rights Reserved.

日本セグメント（品種区分別実績）

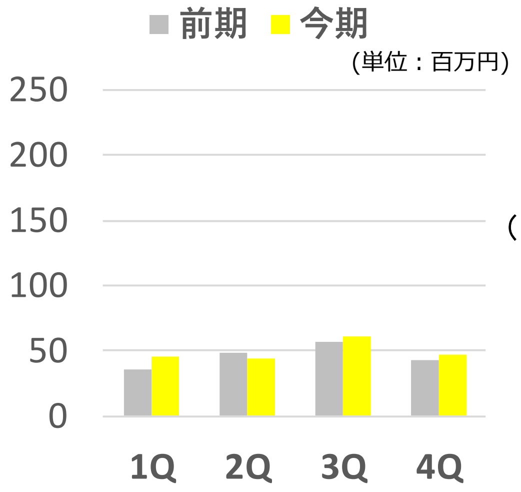
和弘食品株式会社

天然エキス

（単位：百万円）	通期累計
2020.4-2021.3	182
2021.4-2022.3	196



2.0%
売上構成比

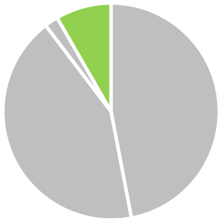


・惣菜メーカーや菓子メーカー等の原料として使用されるホタテエキスの販売がメイン

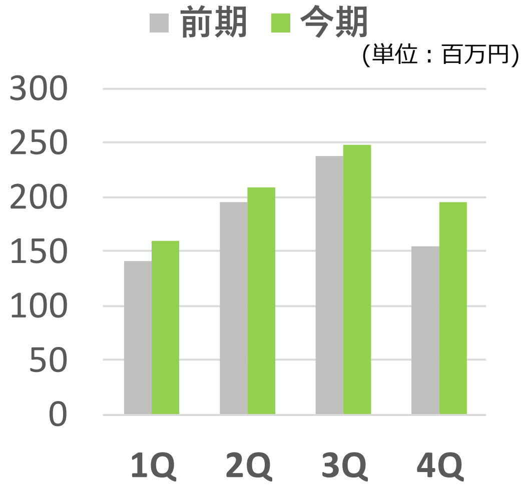
（当社ブランド品　例）

その他

（単位：百万円）	通期累計
2020.4-2021.3	727
2021.4-2022.3	813



8.3%
売上構成比



・協力会社に委託して製造した商品の販売がメイン

・外食市場向けのガラスープ販売が好調に推移

Copyright © 2022 WAKOU SHOKUHIN CO., LTD All rights Reserved.

日本セグメント（新発売の商品紹介）

和弘食品株式会社

当社では新たに**無菌充填方式**を採用した新商品を開発し、素材本来の香りや味わいをお届けできるようになりました。
無菌充填のメリットは、高温で長時間加熱殺菌するレトルト品と違い、短時間で高温殺菌するため、素材本来の味わいや香りを最大限残した「**作りたての味**」に近い状態を提供できる点にあります。
また**未開封・常温流通品**のため、冷凍ストッカーの用意が必要なく、**必要な時にすぐ使用できる**ことも魅力の一つです。

豚白湯ガラスープMN-1

国産の豚骨、豚足、豚頭、豚脂肪を炊き上げた豚100%の白湯ガラスープ。

鶏白湯ガラスープMN-2

国産の鶏骨、鶏足先、丸鶏などを常圧で炊き上げた鶏ベースの白湯ガラスープ。

生ガラ豚骨スープMN-3

「生の豚骨ガラ」をじっくり炊き出した豊かな風味の豚白湯ガラスープ。
（2022年4月21日販売開始）

Copyright © 2022 WAKOU SHOKUHIN CO., LTD All rights Reserved.

当社製品を使用したメニュー紹介（スープカレー）

和弘食品株式会社

夏のメニューに欠かせない味No.1
辛いが旨い！
カレーな夏

スープカレー 和風豆乳味

北海道民が大好きなカレーといえばスープカレー！実はアレンジも多彩です。ベースに豆乳を加えたまろやかな味わいに和節オイルで鰹の香りをプラスしました。具材はちょっぴりヘルシーさを意識して厚揚げをチョイス。
熱々のスープ×じわじわくる辛みを楽しめる一品です。

【具材】
厚揚げ、にんじん、キャベツ、ナス、ブロッコリー、レンコン、かぼちゃ、ヤングコーン、しめじ、豆の水煮、赤パプリカ、黄パプリカ

【作り方】
①野菜をカットし、素揚げします。
②小鍋に**札幌スープカレーの素**50gと豆乳50ml、150mlのお湯を入れてひと煮立ちさせます。
③器に①の具材を盛りつけ、②のスープを注ぎます。
④③に**和ぶし専用調味油**を10～15mlほど加えます。
⑤ごはんを添えて完成です。

【今回使用した当社製品はこちら

使用商品：札幌スープカレーの素（BF-158）
入　　数：1kgスタンディング袋×10入
商品特長：コリアンダーやクミンなどの香辛料にしっかり辛さをきかせたスパイス感がある仕上がり。炒めた玉ねぎのコクやチキンの旨味で奥深い味わいに。

使用商品：和ぶし専用調味油（No.1574）
入　　数：900gスタンディング袋×10入
商品特長：枕崎産の厚削りのかつお節の出汁と鯖節、鰹エキス、羅臼昆布エキスを加え和風料理のベースを再現しました。関西風の淡い色合いに仕上げた万能和風だしです。

Copyright © 2022 WAKOU SHOKUHIN CO., LTD All rights Reserved.

目次

1．トップメッセージ

2．2022年3月期 連結決算概要

3．日本セグメント概要

4．米国セグメント概要

5．2022年3月期 連結業績予想達成率

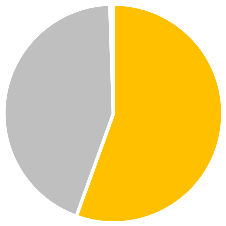
6．2023年3月期 連結業績予想

Copyright © 2022 WAKOU SHOKUHIN CO., LTD All rights Reserved.

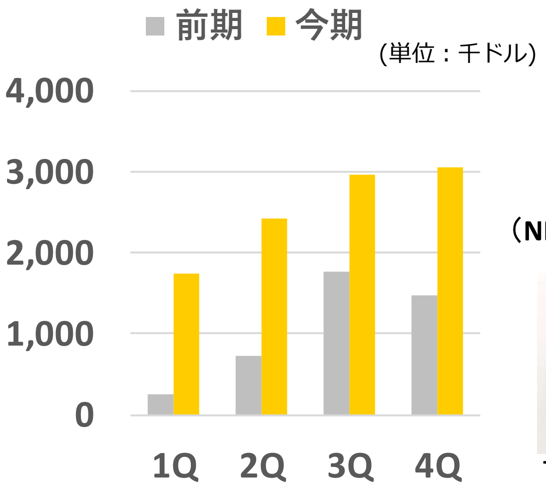
●※NB製品

※ NB･･･ナショナルブランドの略。当社が独自に企画した商品を当社のブランド名で製品化し、販売することを言います。

（単位：千ドル）	通期累計
2020.4-2021.3	4,220
2021.4-2022.3	10,186



55.5%
売上構成比



・北米で大人気の「豚骨系」スープの売れ行きが好調に推移

・味噌系やスパイシー系の需要も増加中

（NB製品を使用したサンプル品画像）

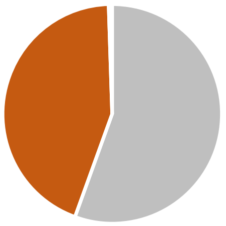
Tonkotsu Ramen Soup Base
（豚骨スープ）

Tokyo Miso Ramen Base
（味噌スープ）

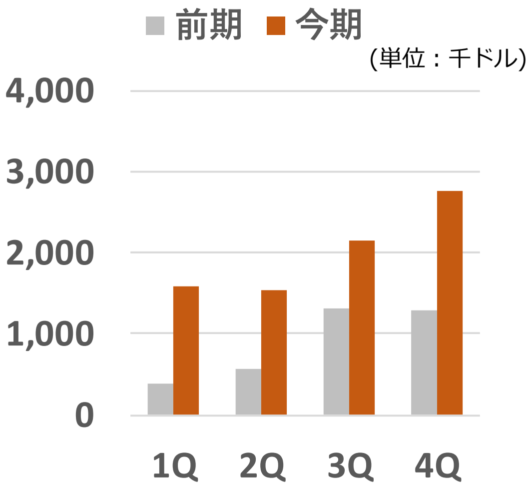
Spicy Miso Ramen Base
（スパイシー味噌スープ）

●PB製品

（単位：千ドル）	通期累計
2020.4-2021.3	3,573
2021.4-2022.3	8,066



44.0%
売上構成比



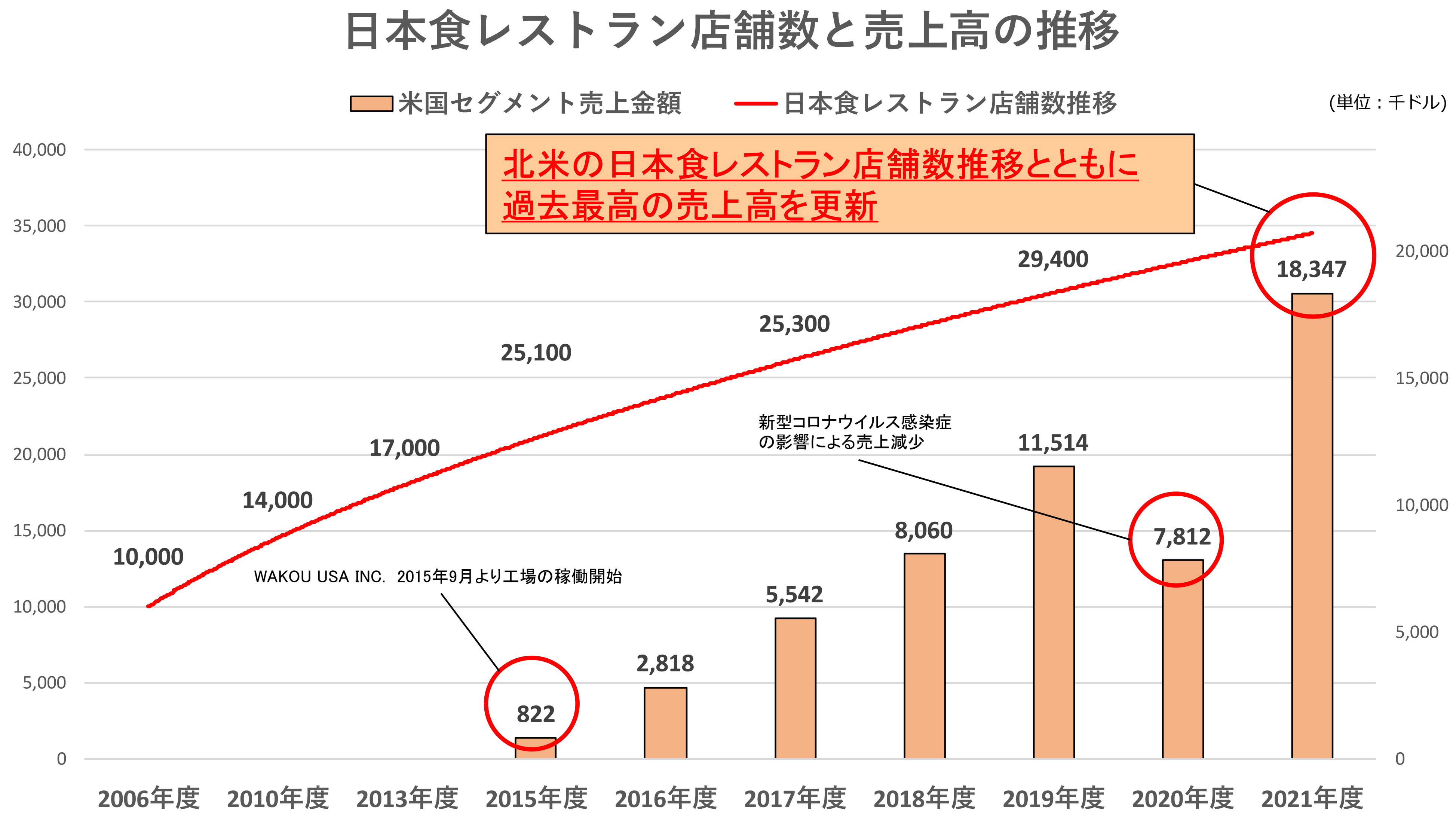
・NB製品と同じく「豚骨系」スープの売れ行きが好調に推移

・ラーメン専門店の店内飲食再開などにより、需要が回復傾向。

Copyright © 2022 WAKOU SHOKUHIN CO., LTD All rights Reserved.

米国セグメント（日本食レストラン店舗数と売上高推移）

和弘食品株式会社



※2020年、2021年の店舗数は当社予測値

参考文献　農林水産省（2006）『海外における日本食レストランの現状について』　農林水産省（2016）『日本食・食文化の海外普及について』　農林水産省（2017）『海外における日本食レストランの数』
農林水産省（2019）『海外における日本食レストランの数』

Copyright © 2022 WAKOU SHOKUHIN CO., LTD All rights Reserved.

目次

1．トップメッセージ

2．2022年3月期 連結決算概要

3．日本セグメント概要

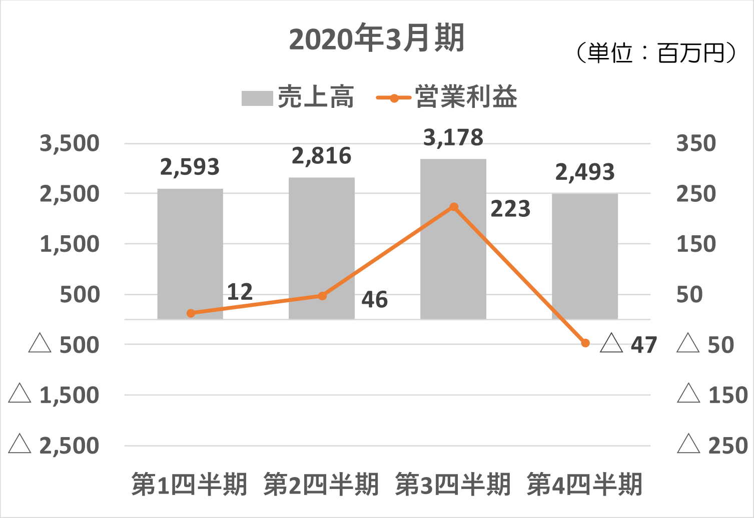
4．米国セグメント概要

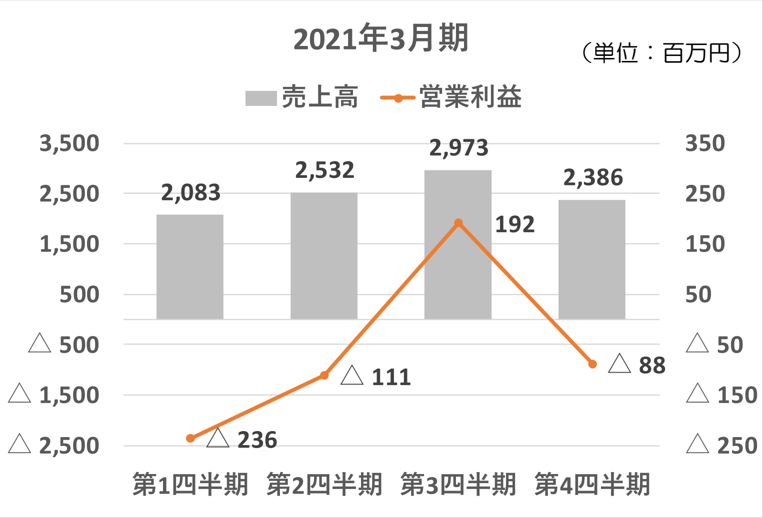
5．2022年3月期 連結業績予想達成率

6．2023年3月期 連結業績予想

Copyright © 2022 WAKOU SHOKUHIN CO., LTD All rights Reserved.

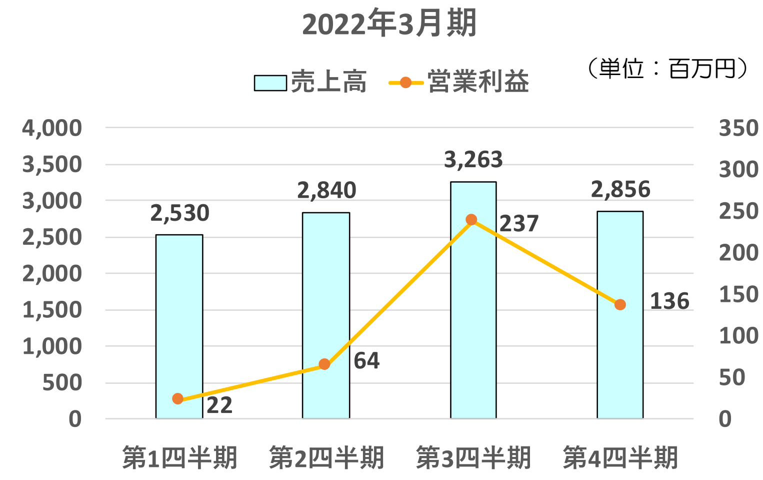
2022年3月期 連結業績予想達成率





（単位：百万円）

項目	2022年3月期 通期実績	2022年3月期 通期予想	通期予想 達成率
売上高	11,490	11,298	101.7%
営業利益	461	381	120.9%
経常利益	469	383	122.5%
当期純利益	461	357	129.1%



Copyright © 2022 WAKOU SHOKUHIN CO., LTD All rights Reserved.

目次

1．トップメッセージ

2．2022年3月期 連結決算概要

3．日本セグメント概要

4．米国セグメント概要

5．2022年3月期 連結業績予想達成率

6．2023年3月期 連結業績予想

Copyright © 2022 WAKOU SHOKUHIN CO., LTD All rights Reserved.

2023年3月期 連結業績予想

和弘食品株式会社

	2022年3月期（実績）			2023年3月期（予想）					
	上期	下期	通期	上期	前期比	下期	前期比	通期	前期比
売上高	5,371	6,119	11,490	5,875	109.4%	6,251	102.1%	12,126	105.5%
営業利益	86	374	461	161	186.0%	408	109.1%	570	123.5%
経常利益	79	389	469	173	218.1%	421	108.1%	595	126.7%
当期純利益	60	400	461	193	322.5%	359	89.8%	554	120.1%

なお、上記連結業績見通しにつきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の新型コロナウイルス感染症の拡大あるいは収束、またウクライナ危機を背景とする原油価格の高騰等による物価上昇圧力の高まりの状況等によって大きく変動する可能性があります。業績予想の修正の必要性が生じた場合には、速やかに開示いたします。

Copyright © 2022 WAKOU SHOKUHIN CO., LTD All rights Reserved.

◇本資料は情報提供を目的としたものであり、特定の商品の募集・勧誘・営業等　を目的としたものではございません。投資を行う際は、投資家様ご自身の判断と責任で投資なさるようお願い致します。
当社の株式のご購入にあたっては各証券会社にお問い合わせください。

◇本資料の内容には、将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではございません。

◇本資料の内容は、現時点で入手可能な情報や、合理的と判断した一定の前提に基づいて策定した数値であり、潜在的リスクや不確実性などを含んでいることから、その達成や将来の業績を保証するものではありません。
また、予告なしに内容が変更または廃止される場合がございますので、あらかじめご了承ください。

本資料に関するお問合せ

和弘食品株式会社

IR担当：廣崎

TEL：０１３４－６２－０５０５

E-mail：IR@wakoushokuhin.co.jp